

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成19年8月9日

【評価実施概要】

事業所番号	2874200237		
法人名	社会福祉法人 みどり福祉会		
事業所名	認知症高齢者グループホームグリーン		
所在地	相生市若狭野町入野554-1 (電話)0791-28-0085		
評価機関名	社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会		
所在地	兵庫県神戸市中央区坂口通2-1-8		
訪問調査日	平成19年6月7日	評価確定日	平成18年8月21日

【情報提供票より】(平成19年4月11日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年4月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	7 人、非常勤 1 人、常勤換算 8 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り「準耐火建築物 造り		
	2 階建ての	2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	26,100 円	その他の経費(月額)	34,900 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 450 円
	夕食	450 円	おやつ 200 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(4月11日現在)

利用者人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名
要介護1	2 名	要介護2	4 名		
要介護3	3 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 81 歳	最低	74 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	魚橋病院
---------	------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

国道2号線に沿って相生市街より西南に位置した村の中にある。鉄筋2階建てで外壁の色がグリーンでわかりやすいが、建物には法人併設の障害分野のグループホーム・授産施設や喫茶もあるので、ホームの存在がわかりにくくもなっている。運営者は魚橋病院周辺を福祉村にとの思いがあり、地域との連携に力をいれている。運営推進会議が軌道に乗りつつあり地域の理解により、利用者の外出の機会が増えている。管理者が積極的に同業者とネットワークを組み、じゃがいも堀りを通じて他のホームの職員や利用者との交流、また職員の質の向上を目指して体験交流を予定している。職員は明るく仲が良く、利用者も落ち着かされている。今後の課題として、介護計画に家族の意見を積極的に出してもらう等協力を得る取り組みが望まれる。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4) 前回の改善課題の話し合いがもたれており、運営理念の地域での啓発活動については運営推進会議で取り組みがされ、衛生管理については全職員が意識して改善している。まだ残されている課題もあり、今後の計画的な取組が期待される。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4) 自己評価は全職員各自が取り組み、職員間の目線の違いが分りケアの振り返りに役立っている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:第三者4,5,6) 運営推進会議は平成18年9月から2ヶ月に1回実施しており、自治会等から出された意見を積極的に取り入れている。市の担当課は当初運営推進会議に参加がなかったが、ホームの働きかけにより参加している。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8) 利用者の家族からは意見や苦情はあまり出されない。運営推進会議では参加する家族より意見を聞くようにしている。ホームから毎月暮らしぶり、金銭出納状況、健康状態、担当職員からのコメント等の手紙を送付して利用者の状況を共有できるようにしている。意見を出してもらえよう協力を呼びかける等の取り組みが期待される。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3) 近隣や自治会の行事には積極的に参加しており、地域から温かく迎えられている様子がうかがえる。自治会長から積極的な働きかけで町の花見会の招待や地域のオープンガーデンに指定されたり、個人の方の箏の演奏に利用者が呼ばれたりして外出の機会も増えている。地域の環境に家族からも感謝されている。

2. 第三者評価報告書

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「家にいるように自分らしくのびのび暮らしましょう」の理念を元に、地域密着型サービスに適した理念として職員と一緒に取り組み『温かい心を持ち家にいるようにゆったりたのしく共に寄りそうケア』を作成し運営している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝のミーティング時や日々の取り組みの中で理念を確認するようにしている。名札の裏に理念を記載した用紙を入れ、いつでも見ることができるようにしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣や自治会の行事には積極的に参加しており、地域から温かく迎えられる様子が伺える。自治会長から積極的な働きかけで町の花見会の招待や地域のオープンガーデンに指定されたり、個人の方の箏の演奏に利用者が呼ばれたりして外出の機会も増えている。地域の環境に家族からも感謝されている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価で確認された要改善内容については全職員で改善に取り組んでいる。自己評価は全職員各自が取り組み、職員間の目線の違いが分りケアの振り返りに役立てている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>昨年9月より5回程度運営推進会議が持たれている。自治会長や市議会議員も参加しており会議で出された意見・要望等を積極的に取り入れている。地域の祭りへの出品依頼もあり地域との交流へとつながっている。</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>何かあれば相談をしている。運営推進会議には当初参加がなかったが、ホームの働きかけにより参加となっている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族には毎月利用者の暮らしぶり、健康状態、金銭出納状況や担当職員のコメントなどを記載して報告している。広報誌も2ヶ月に1回送付しグループホームの様子が分かるようにしている。急な変化があった時はすぐに家族に電話で連絡するようにしている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議では家族から意見を聞くようにしており、また、ホームに訪問される家族には苦情や意見について積極的に言ってもらえるよう声をかけ働きかけをしているが、あまり意見等は出されない。また、来られない家族には働きかけがあまりできていない状況である。</p>		<p>毎月報告の手紙や隔月の広報誌を送付して利用者の状況を共有できるようにしている。ホームに訪問する機会が少ない家族にも訪問するきっかけになるような記事の掲載や、意見を出してもらえるよう協力を呼びかけるなど工夫の検討が望まれる。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>開設後職員の異動がないので利用者も穏やかな生活をしている。また、利用者の担当制になっているが日頃から全職員が一人一人の利用者と関わりを持つように努力をしている。</p>		


第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>認知症介護実践研修に参加したり、法人の勉強会には交代で2名ずつ参加し、地域主催の認知症をテーマにした健康大学には毎年自主的に休みの職員が交代で参加している。管理者研修にも参加し、機会があれば外部研修にも参加できるようにしている。</p>		<p>認知症介護実務者研修等、認知症ケアを主なテーマにした研修へ計画的に参加できるようにすることが望まれる。また外部研修に参加した場合はホーム職員間で確実に共有できるよう会議等での伝達を行なうことが望まれる。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者は西播磨、赤穂、相生、龍野などの同業者とネットワークを組み2ヶ月に1回程度研修に参加している。今年は研修の一環として同業者の職員と利用者と共にじゃがいも堀を行う交流会を予定している。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前には家族や利用者に見学してもらいグループホームの雰囲気やサービスの説明をして納得してもらおう取り組みをしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は理念に基づき利用者と共にゆっくりした雰囲気でケアに取り組み、自由に話し相手になったりしている。また利用者から料理や洗濯物のたたみ方などを教えてもらいながら過ごしている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>長期に入院していた病院から直接入居した利用者が多いのが特徴で、動いているよりも寝ていたいと希望される利用者もいる。その方にはドライブ等の外出時に職員と隣り合わせで座るようにしており、会話の中での利用者の希望を確認するようにしている。</p>		
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者や家族に介護計画への参加を依頼しているがなかなか参加をしてもらえない。職員の経過記録やケア記録を参考にして問題や課題について検討しながら計画に取り入れている。</p>		<p>介護計画の作成において自立支援に向けてケアスタッフが留意すべきことを積極的・具体的に聞く等、家族が参画しやすい工夫が期待される。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>変化のある方は見直しされているが、変化の無い利用者の見直しが後回しになっている。</p>		<p>利用者に変化のある、ないに係わらず、定期的に計画を見直し点検していく取り組みが望まれる。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>医療連携体制として看護師を常勤で確保し、医療・健康状態への配慮をしている。</p>		<p>小規模のデイサービスをグループホーム内に作る計画があり、今後の実現が期待される。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者のかかりつけ医は母体の魚橋病院であり直通ですぐに連絡できる体制がある。歯科、眼科、外科等は利用者のかかりつけ医に受診できるよう家族と連携し支援している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>急性期・重度化・終末期ケア対応指針を作成し、入居時に家族に説明して同意を得ている。</p>		<p>管理者は終末期の看取りに取り組みたい思いがあり職員もその取り組みに関して理解がある。今後の実践に向けた準備が期待される。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>声かけは利用者にやさしく、やわらかな口調で行なっている。業務中に気になる言葉を耳にしたら職員間で注意するようにしている。個人の記録・資料は事務所に保管しており、個人情報の取り扱いに配慮している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>天気の良い日は買い物に行ったり、地域の行事に参加をしたりしている。また墓参りに行く等の希望が出た場合も外出している。無理じいせず希望の無い時は自由にする時間も大切にしている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の献立を利用者と共に考え、当番で買い物と一緒にいき、お金の支払いも利用者にしてもらっている。準備や片付けも当番をきめてあり、男性もしなくても役割があることを喜んでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居前の病院での習慣で週2回の入浴が行われている。最低は週2回と決めているが希望があればいつでも入浴できるようにしている。		グループホームの暮らしに慣れて来た利用者には入浴時間の希望も聞き、就寝前の入浴や生活リズムに合わせた入浴時間や回数の希望を取り入れる取り組みが期待される。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	料理のできる人には料理を、編み物の好きな人には編み物を、ぬりえ、ちぎり絵など趣味活動も大切にしている。また洗濯たたみの得意な人にはたたんでもらっており、利用者は思い思いに活動をしている。相生市の案山子まつりに作品を出品し、努力賞を受賞している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者から外出の希望は少ないが希望があれば、業務の状況を見ながら対応している。毎日近くのお地藏さんにお参りされている利用者がありホームの中でお参りが日常に広がってきている。引きこもりにならないように散歩を中心に外出に誘っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室の施錠は一切しておらず、ホームの入り口は日中施錠しないで見守りのケアをしている。鍵は管理者が帰る夕方6:00頃掛けるようにしている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署の立会いのもと、利用者と共に夜を想定した消防訓練も実施している。AEDも設置されており使用方法の訓練も行われていて職員全員が使用できるようにしている。周囲に民家がなく、地域の協力等をすぐに得るのは難しい状況である。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	調理師資格を持つ職員がおり、献立は全職員と利用者で共に考えている。利用者の栄養バランスや水分摂取については各々記録し把握している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	建物の構造は病院的な作りになっているので家庭的な温かさを得る工夫に難しさもあるが、生け花等で雰囲気づくりがなされ居間や廊下には作品が掲示してある。一見無為にホーム内を歩き回るように見える利用者も、自身の作品を立ち止まって見つめたり、作品を自分で貼るのが楽しみな方もいる。		共有空間づくりを管理者や職員で検討するのみでなく、家族、運営推進会議のメンバーや地域の方などの感想や意見を取り入れていくことも期待される。
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内に置く家具等の持ち込みは利用者の自由にしており、好みにソファやたんす、仏壇も持ち込まれている利用者もある一方、あまり持込をされていない利用者もいる。		持ち込み量に差があることはいたし方が無い部分もあるが、持ち込みの少ない利用者には家族等に積極的にPRし、好みのものを一緒に買い揃える等の取り組みが期待される。

 は、重点項目。